

第3回（平成29年12月19日開催）森町行財政改革推進委員会 意見

○大綱

No.	意 見	回 答
1	<p>委員</p> <p>・注釈の四角で囲った線は残るのか。目立ってしまっているので、＊を振るなど目立たないようにした方が良い。</p>	<p>・該当部分を修正する。</p>
2	<p>委員</p> <p>・第1 本大綱の目的と位置づけ中 「本大綱は、総合計画の柱に縛られず」が一般の人にとっては聞き慣れない言葉になるので、「総合計画の6つの柱に共通する」のようにした方が良い。</p>	<p>・該当部分を修正する。</p>
3	<p>委員</p> <p>・第3の2の（4）① 他の項目のようにやるメインのことが最後に書かれるようそろえた方が良い。「人事評価制度を推進します。」を「人事評価制度を活用し、職員の人材育成と組織の活性化に努めます。」の方が良い。</p>	<p>・該当部分を修正する。</p>

○プラン

No.	意 見	回 答
1	<p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少に対するアクションとしての挑戦課題を数字の上で位置づけるべき。具体的には、待機児童4名というのは矛盾している。 ・もし「0」が無理であれば別の形で表現した方が良い。 ・一般の人に読まれるということで数字は重要な森町のアピールになり、大事。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年以降の目標を「0人」とする。
2	<p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重視することを5年間の前半にして、場合によっては3年後から始めるなどメリハリを付けた方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・重視することは、チャレンジ項目として整理する。新たな項目が必要となったときは、今後追加していくこととする。
3	<p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果指標（KPI）は、矢印ではなく数字を入れた方が良い。 ・その数字にした根拠も書いておいた方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り数字を入れることとする。毎年見直すため、根拠は直近年度（今回は平成30年度）のみを各年度の「取組内容（目標）」欄に追記できるものは追記する。
4	<p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規の中でも現行でブラッシュアップするものが多々ある。本当の新規との整理が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規をピックアップするよりチャレンジ項目をピックアップすることを今回は優先し、構成を変更する。
5	<p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「コミュニティ活動に係る補助金の見直し」の今の補助制度がわからない。現実がどうなのかわかりやすくすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進行管理表に「現状」という欄を新たに加える。
6	<p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討期間が長いという印象を受けるものがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・検討期間を一部短く見直した。（通し番号2の年次活動計画）

7	<p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大胆な施策に絞り込んでいくのもありかなと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ項目を新たに設定する。
8	<p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダブる部分があり、全体的な共通した動きが見えると良い。 ・取組担当課でなく取組の主担当課 ・連携の程度によってはサブで明記する。 ・特に文化財。保存だけでなく活用していくことも必要で、文化振興だけでなく産業振興と一緒にやっていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「SNS を活用した情報発信」を「広報活動の充実」に統合する。 ・「取組担当課」欄を「主担当課」と「関係課」に変更する。とりまとめは、主担当課が行うものとする。
9	<p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画期間のところに、今回のプランの5年のことは書いてあるが、次の5年のことも入れた方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・該当部分に追記する。
10	<p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果指標について、アウトプット・アウトカムをバランス良く入れた方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトプットが多いので、可能なものについてはアウトカムを増やす。
11	<p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「削減すべきところは削減し、強化すべきところは積極的に取り入れながら・・・」特に強調したい部分は。 ・冒険的なもの、チャレンジ的なものもあっても良い。 ・3段階で分け、チャレンジ度がわかる方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に人口減少対策・交流人口の増加につながるものなどに対し、高い目標を掲げ、チャレンジ項目として整理する。
12	<p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政的なところで、収支比率とか借金比率のような数値的なものを入れた方が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通し番号 37 の成果指標に「年度末起債残高」を追加する。

13	<p>委員</p> <p>・「具体的方策」は、主なものということか。</p>	<p>・「主な具体的方策」という表記に修正する。</p>
----	--	------------------------------